

2017年(平成29年度)複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	Ⅱ-4(3) 健康で安心して暮らせる社会の構築(化学物質のリスク管理を推進するために)	施策No.	27	施策名	化学物質に関するリスクコミュニケーションの推進
-----	---	-------	----	-----	-------------------------

目的、内容	化学物質による環境リスクに関する科学的な知見・情報を府民・事業者・行政が共有し、相互理解を深めるための対話である「リスクコミュニケーション」の取組を推進 府は、府域の環境リスクを管理するという立場から対話の場を設け、対話を推進(化学物質に係る情報提供、リスクの客観的な評価、府の取組方針の説明等)				
副次的効果、外部効果等					
関係法令、行政計画等	PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律) 府生活環境保全条例、府化学物質適正管理指針 土壌汚染対策法				
国等の政策、社会情勢等					
(参考) 講じた施策に記載した施策事業コスト	2014年度(決算額)(千円)	2015年度(決算額)(千円)	2016年度(決算見込額)(千円)		
	376	226	317		
	※各年度で「講じた施策」への掲載事業が異なることから、新規事業の有無等に関わらず、年度間でコストの増減がある。				
取組指標及び実績(施策効果の定量評価)	名称	把握方法	実績		
①	リスクコミュニケーションに関するセミナー等の開催	セミナー等の開催実績の集計	化学物質対策セミナー (参加者数:2014年度449人、2015年度425人、2016年度372人)		
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況	
	事業者への働きかけ				
	大規模事業者に対する働きかけ(約50社) 中規模事業者に対する働きかけ(約200社) 化学物質対策セミナー(事業者向け)の実施	☆☆	化学物質対策推進事業	府化学物質管理制度対象事業者を対象として、化学物質対策セミナーを毎年度1回、大阪市・堺市と共催で開催し、リスクコミュニケーションの実施事例等を紹介。 (参加者数:2014年度449人、2015年度425人、2016年度372人)	
	レスポンシブルケア協議会主催の会議において事例紹介	☆☆	同上	レスポンシブルケア委員会の会員企業のリスクコミュニケーション実施事例を府ホームページにて情報提供(2014~16年度:毎年更新)	
	NPO・市民団体等との連携				
	働きかけを行った事業者とのリスクコミュニケーションの実施 化学物質対策セミナー(NPO・市民団体等向け)の実施	☆☆	土壌・地下水汚染対策推進事業	不動産関係団体、宅建業者及び建設業者等の関係者に対して、セミナーや研修会等において土壌汚染対策制度や土地の売買等におけるリスクコミュニケーションの重要性について周知。 2015年度:建設業者等を対象としたセミナー(1回) 2016年度:建設業者等を対象としたセミナー(1回)、不動産関係団体及び宅建業者を対象とした研修会(2回)	
	情報の整理・場の提供・対話の推進				
	情報の整理・提供	☆☆	化学物質対策推進事業	化学物質の排出量及びリスクコミュニケーションに関する情報をホームページに掲載	
	場の提供・対話の推進	☆☆	化学物質対策推進事業 土壌・地下水汚染対策推進事業	上記セミナー及び研修会の実施	
	※進捗状況:☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画以下の進捗/△計画とは異なる事業内容で進捗				
評価		評価	理由等		
	施策目的の達成状況	計画どおり進捗			
	事業・工程の進捗状況	計画どおり進捗			
計画見直し又は改善事項		見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等		
	目標	無			
	施策の方向・主な施策	無			
	工程表	無			
	その他の改善事項	無			
関係課室	環境管理室				

環境総合計画	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
--------	----------------	----------	------------------

部会委員による点検（所見）	点検評価手法の適正さについては、概ね妥当である。	評価結果については、概ね妥当である。	化学物質対策セミナーの参加者が減少傾向にあるので、セミナーの改善について検討すべきである。
---------------	--------------------------	--------------------	---